

FORMULA

NIPPON'10

モータースポーツの

リーディングペーパー

購読のお申し込みは

0120-026-999

FAX 0120-026-993

http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

Formula NIPPON

モバイルサイト

躍動!

http:f-nippon.co.jp/m/

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイトが

ついに始動！公式情報はもちろんモバイル版だけの

会員専用コンテンツも充実！

モバイル版サイトでFormula NIPPONをもっともっと

楽しもう！

Formula NIPPON

OFFICIAL Mobile SITE

Formula NIPPON meets mobile :-)

access this QR cord!

本紙への広告掲載のお問合せは：

JRP

Japan race promotion co.,ltd.

株式会社 日本レースプロモーション

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25

03-3237-0131

http://f-nippon.co.jp

編集制作：DOS co.,ltd./JRPオフィシャルフォトグラファー：小林穂、大西晴

百「華」繚乱

新たに芽吹く新見チーム。

二度咲きを期する名門。

ルーキーはその才能を開花させるか。

サーキットを舞台に咲き乱れる戦いの華は、最速の称号を懸けて物語を紡ぎ出す。

フォーミュラ・ニッポン、百「華」繚乱。

それは、八月月間に及ぶ「華」の宴。

Lap up

Formula NIPPON!

Entertainment

レーシングコースKIDSバスツアー

フォーミュラ・ニッポン参戦ドライバーがバスに同乗し、ロードコースのガイドを実施します。

開催日：5月23日(日)

参加ドライバー（予定）：

ケイ・コッツォリーノ選手、井口 卓人選手

料金：2,000円(親子セット料金)

募集人数：40組80名

参加資格：中学生以下のお子様とその保護者

KIDSグリッドウォーク

中学生以下のお子様を対象とした決勝レース直前のグリッドウォークを開催！スタート直前の熱気を感じよう！

※別途料金がかかります。

とちぎ和牛・いばらきメロンカップ

コチラレーシング ドリームマッチ

チーム監督や、往年のドライバー達によるエキシビジョンレースを開催。

参加者（予定）：中嶋悟 監督 (NAKAJIMA RACING)

鎧信秀 監督 (PETRONAS TEAM TOM'S)・森本晃生 ヘッドコーチ (Team LeMans)・金石勝智 代表 (HFDP RACING)・畑川治会長 (日本フォーミュラスリー協会)

ビットウォーク

マシンやドライバー、そしてレースに花を添えるレースクイーンを間近で見られるチャンス！大好評のビットウォークをお昼の時間帯に開催します。

開催時間：11：25～11：55

参加料金：大人（中学生以上）1,000円 子供無料

※前売ビットウォーク券が完売の場合は、当日ビットウォーク券の販売はございません。

※ビットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。

フォーミュラ・ニッポン

ドライバートークショー

開催日時：5月23日（日） 10：25～10：45

出演者（予定）：

塚越広大選手、大嶋和也選手、山本尚貴選手

開催場所：グランドスタンドプラザ特設ステージ

フォーミュラ・ニッポン 解体ワークショップ

フォーミュラ・ニッポンの車両の仕組みや機能について解説します。

開催日時：5月23日（日） 10：30～

開催場所：ファンファンラボ

2010フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1

4/17,18

鈴鹿サーキット

Rd.5

9/25,26

スポーツランドSUGO

Rd.2

5/22,23

ツインリンクもてぎ

Rd.6

10/16,17

オートポリス

Rd.3

7/17,18

富士スピードウェイ

Rd.7

11/6,7

鈴鹿サーキット

Rd.4

8/7,8

ツインリンクもてぎ

Information media

Find your Style

J SPORTS

J SPORTSでは今年もFormula NIPPONを全戦放映します。

サーキットに来場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

J SPORTS「フォーミュラ・ニッポン2010 第2戦 決勝 ツインリンクもてぎ」

5月23日(日) 14:00～16:00 (初回ライブ放送/ sports 1)

5月24日(月) 24:00～26:30 (再/ sports 1)

5月25日(火) 22:00～24:30 (再/ sports 1)

5月28日(金) 13:00～15:30 (再/ sports 1)

この他放映日につきましては、J SPORTS公式HPをご覧ください。

※放送局・放送時間は変更になる場合があります。

BSフジ

BSフジ「フォーミュラ・ニッポン2010」

5月29日(土) 16:00～16:55 6月6日(日) 16:30～17:25 (再)

◆番組ホームページ：http://www.bsfsj.tv/top/index/top.htm

F-PROJECT

NTT docomoのフォーミュラ・ニッポン通信実験サイト。

車載映像とテレメトリデータを配信します。

◆番組ホームページ：http://www.fproject.tv/

Motorsports Channel

ケータイでライブタイミングで走行中の全車両の順位、ラップタイム、ピットインの情報をリアルタイムでチェック！レースをより面白くする情報満載です。

DVD

2009 Formula NIPPON 総集編

絶賛発売中!

覚醒したフランスの若獅子が2009年を制す！

細心フォーミュラカーによる日本最高峰バトルを見逃すな!!

新マシンをモノにしたNAKAJIMA RACINGの速さが輝いた

2009年全戦をダイジェストで収録。

好評発売中! 3,800円

V

2010年シリーズバックパス販売のご案内

今年のフォーミュラ・ニッポンシリーズバックパスは、バックエリアへはもちろん、決勝グリッドや公式合同テスト、そして今年は、11月13日、14日行われるSUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010への入場も可能！

70,000 円（税込）

お問い合わせ spp@f-nippon.co.jp

フォーミュラ・ニッポン公式サイト

http://www.f-nippon.co.jp/_newsheadline/100315-3.html

2010年フォーミュラチャレンジ・ジャパン(F CJ) 第1戦

FCJ Rd.1 決勝 正式結果表

Po.	No.	Driver	Car Name/Team	Time
1	1	中山 雄一	CITYKART FCJ	1'55.553
2	20	松井 孝允	NDDPRIRacingFCJ	1'56.105
3	7	平峰 一貴	HFDP/SRS ｽﾚｯｼｭﾌﾞ /ﾌｻﾌﾙ	1'56.226
4	4	平川 亮	Clarion FCJ	1'56.274
5	13	朱 聡雄	NDDP FCJ	1'56.218
6	14	大谷 飛雄	ﾋﾞﾙﾄﾞ ｴﾌ FC106	1'56.328
7	19	元嶋 佑弥	HFDP/SRS ｽﾚｯｼｭﾌﾞ /ﾌｻﾌﾙ	1'56.246
8	17	石井 一也	TAKAGI PLANNING	1'56.404
9	11	立石 雄汰	MediaDo	1'56.671
10	15	白石 勇樹	やぐら動物病院	1'56.896

天気：晴れ/コース：ドライ/走行：21台

Formula Challenge Japan

中山雄一が初優勝を飾る

路面温度が50度を超える厳しいコンディションの中、ボールポジションからスタートしたNo.1中山雄一が序盤からハイペースで逃げにかり、2位との差を著実に広げました。最終的には2位に5.986秒の差をつけ、フォーミュラチャレンジ・ジャパン(F CJ) 参戦3年目で、初めての優勝を遂げました。

2位には2年ぶりのFCJ参戦となったNo.20松井孝允が入り、3位にはNo.7平峰一貴が国内四輪デビューレースで見事表彰台を獲得しました。

Support races qualifying result (top10)

全日本フォーミュラ3選手権 第4戦 決勝結果

Po.	No.	Driver	Team/Car	Time
1	1	Y.Kunimoto/国本 雄貴	PETRONAS TOM'S F308	1'46.683
2	12	Y.Sekiguchi/関口 雄飛	ThreeBond	1'46.690
3	2	Alexandre IMPERATORI	TODA FIGHTEX	1'47.250
4	62	K.Saga/嵯峨 宏紀	DENSO-ﾎﾙﾄﾞ ｴﾌF308	1'47.240
5	36	RAFAEL SUZUKI	PETRONAS TOM'S F308	1'47.088
6	5	H.Yoshida/吉田 広樹	MUﾊﾞｼﾞﾅｰｼﾝｸﾞ F308	1'48.239
7	63	K.Chioyo/千代 勝正	Bﾌﾟﾃﾞ ｲﾝｼﾞ ｵｰﾄF305	1'48.697
8	8	T.Kobayashi/小林 崇志	HFDP RACING F307	1'48.797
9	7	K.Miura/三浦 和樹	HFDP RACING F307	1'49.406
10	20	GARY THOMPSON	ACHIEVEMENT by KCMG	1'49.247

天気：晴れ/コース：ドライ/走行：17台

ホンダエキサイトカップワンメイクレース2010

ﾍﾞｼﾞｯｸ・ｲﾝﾀｰｼｰﾘｰｽﾞ～第3戦 予選結果

Po.	No.	Driver	Team/Car	Time
1	1	松井 隆幸	無限FD25SRｶｰｽﾞ 東海ED	2'11.432
2	18	谷口 信輝	ｼﾞｮｰｼﾞｽﾋﾞ ｳｯｼﾞﾋﾞ ｳｯ	2'11.563
3	8	伊藤 博之	DRAWING-MS ｵﾓﾂ's FD2	2'11.790
4	7	大西 隆生	ｵｰﾋﾞ ｳｯｽﾞ G-7HD FD2	2'12.253
5	58	小林 康一	ｶｰｽﾞ 東海ﾌｻｽﾞ ｵｰﾄKRP	2'12.296
6	57	後藤 比至至	SEV-MART-ED-CVIC	2'12.432
7	86	水越 真一	NUTECｲﾝﾌﾞ ﾛｲCVIC	2'12.443
8	72	谷口 行規	WM-ｼﾞｰﾋﾞ ｲﾝｼﾞﾋﾞ ｳｯ	2'12.498
9	4	太田 伸弥	BRIDE-IDI-PETRONAS-FD2	2'12.674
10	16	北野 浩正	NUTEC制動魔G+1東昇R	2'12.742

天気：晴れ/コース：ドライ/走行：13台

QUALIFYING

予選速報

NEWS FLASH

2010全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第2戦 2010年5月23日(日)ツインリンクもてぎ

Round 2

ご自由にお取り下さい

Take Free

発行人/編集人：

株式会社日本レースプロモーション

〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

NIKKI TCHT

人気酒造

BRIDGESTONE

http://f-nippon.co.jp/

第2戦公式予選は、超僅差の争い

J.P・デ・オリベイラ(Mobil 1 TEAM IMPUL)が自身2度目のPPを獲得！

2010年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第2戦が5月22日(土)～23日(日)、栃木県・ツインリンクもてぎで行なわれた。開幕戦に続き、今回も超僅差のタムの中争われた予選で今季初、自身2度目のポールポジションを獲得したのは、No.19 JP・デ・オリベイラ(Mobil 1 IMPUL)。わずかに100分の2秒差の同タイムでNo.36アンドレ・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOM´S)、No.32小暮幸史(NAKAJIMA RACING)と続き、さらに100分の6秒差でNo.1ロッキ・デュバル(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、そこから100分の2秒差でNo.10塚越広大(HFDP RACING)と続いた。

盛夏を思わせる晴天に恵まれた22日(土)。午後2時25分からのノックアウト予選は、気温28℃、路面温度47℃というコンディションの中で開始された。まず行なわれたのは、14台中3台が振り落とされる20分間のQ1。ピット出口がオープンされると、全車コースインしていく。この中で、最初からニュータイヤを装着してコースに入ったのがNo.18平中克幸(KCMG)とNo.29井口卓人(DELIZIEFOLLIE

/CERUMO-INGING)、ケイ・コッツォリーノ (Team LeMans) の3台。それ以外のドライバーはユーズドタイヤ。マシンの状況を確認し、一旦ピットに戻る。その間に平中がマークした1分35秒393というタイムをユーズドタイヤで上回ってきたのが小暮だった。小暮はこの時点で、1分35秒235までタイムを伸ばす。その後、セッションが残り10分を切ったあたりでコッツォリーノが2セット目のニュータイヤを投入しアタック。さらに、残り5分となったところでロッテラーがコースインすると、これをきっかけに、残る全車がニュータイヤでタイムアタックへと向かう。平中もさらにもう1セット、ニュータイヤを投入する。そしてQ1でトップタイムをマークしたのは、ユーズドでも速さを見せた小暮。これにオリベイラ、No.20平手晃平(Mobil1 TEAM IMPUL)、ロッテラー、デュバル、塚越と続く。平中は7番手でQ1突破。一方、コッツォリーノ、No.16井出有治(MOTUL TEAM無限)、井口がQ1敗退となった。10分間のインターバルを経て、10分間のQ2が開始されたのは午後2時55分。ここではセッションが始まって、どのマシンもピットにしばらく待機。残り時間が6分となったところで小暮がまず動き出すと、これを合図に他のマシンも一斉に動き始めた。ここでチェ

ッカー目前にトップタイムとなる1分34秒144を叩き出したのは塚越。ここから100分台の僅差で、デュバル、ロッテラー、オリベイラ、小暮と続く。一方、100分台の差でQ3進出を逃してしまったのが、No.31山本尚貴(NAKAJIMA RACING)とNo.8石浦宏明(Team LeMans)。アタック中の3コーナードでミスしてしまったNo.2伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)もQ3進出を果たすことが出来なかった。さらに10分間のインターバルを経て、いよいよポールポジションを賭けた10分間のQ3が、午後3時15分に開始される。ここでは、残り時間が約6分半となったところで、まずロッテラーがコースイン。平手、No.37大嶋和也(PETRONAS TEAM TOM´S)、オリベイラ、デュバル、小暮、塚越が続いた。そしてQ1、Q2と同様、1ミスで大きく順位が入れ代わる超僅差のQ3を最終的に制し、ポールポジションを奪ったのがオリベイラ。これに、全くの同タイムでロッテラー、小暮と続いた。明日の決勝は雨という天気予報が出されているが、上位グリッドにはウェット路面を得意にしているドライバーがズラリ。この中から誰が抜け出すのか、非常に興味深い展開となりそうな気配だ。

PP



19 J.P. デ・オリベイラ
TEAM IMPUL
Qualify 1: 1'34.476
Qualify 2: 1'34.251
Qualify 3: 1'33.967

3



32 小暮 卓史
NAKAJIMA RACING
Qualify 1: 1'34.307
Qualify 2: 1'34.265
Qualify 3: 1'33.986

4



1 L. デュバル
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Qualify 1: 1'34.707
Qualify 2: 1'34.165
Qualify 3: 1'34.054

Qualifying Result
Race start: 14:25

2



36 A. ロッテラー
PETRONAS TEAM TOM'S
Qualify 1: 1'34.658
Qualify 2: 1'34.235
Qualify 3: 1'33.986

5



10 塚越 広大
HFDP RACING
Qualify 1: 1'34.880
Qualify 2: 1'34.144
Qualify 3: 1'34.074

After NAKAJIMA RACING got the first attack, How will the rivals fight in the second battle!

ナカジマレーシングに先手を許したライバル勢は、この第2戦をどう戦う！

6



20 平手 晃平
TEAM IMPUL
Qualify 1: 1'34.618
Qualify 2: 1'34.415
Qualify 3: 1'34.185

7



37 大嶋 和也
PETRONAS TEAM TOM'S
Qualify 1: 1'35.163
Qualify 2: 1'34.611
Qualify 3: 1'34.446

8



18 平中 克幸
KCMG
Qualify 1: 1'35.035
Qualify 2: 1'34.728
Qualify 3: 1'34.944

9



31 山本 尚貴
NAKAJIMA RACING
Qualify 1: 1'35.434
Qualify 2: 1'34.744
Qualify 3: ---

10



8 石浦 宏明
Team LeMans
Qualify 1: 1'35.052
Qualify 2: 1'34.760
Qualify 3: ---

11



2 伊沢 拓也
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Qualify 1: 1'35.595
Qualify 2: 1'35.094
Qualify 3: ---

12



7 K.コッツォリーノ
Team LeMans
Qualify 1: 1'36.161
Qualify 2: ---
Qualify 3: ---

13



16 井出 有治
MOTUL TEAM 無限
Qualify 1: 1'36.207
Qualify 2: ---
Qualify 3: ---



29 井口 卓人
DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING
Qualify 1: 1'36.640
Qualify 2: ---
Qualify 3: ---

タイムスケジュール(決勝日)

8:25	FCJ 第2戦 決勝(18周)
9:25 >> 9:55	Formula NIPPON フリー走行
10:30	F3 選手権 第4戦 決勝(20周)
11:25 >> 11:55	ピットウォーク
12:25	CIVIC 決勝レース(14周)
14:30	Formula NIPPON 第2戦決勝(52周)

Pit Assignment

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41

31/32 36/37 19/20 1/2 7/8 10 10 25 18 16

First Corner Pit Road

■予選日：2010年5月22日(土) ■天候：晴れ ■路面：ドライ ■予選通過：1'40.908：Q1/107%
※No.36およびNo.32の順位は、2010年全日本選手権・フォーミュラ・ニッポン統一規則 第24条 10.に基づき決定した。

Round 2 MOTEGI Race Preview - 第2戦予選レースの見どころ -

各チームの戦略面が見どころの一つとなる、もてぎのレース 250kmのレース距離、さらに「雨」もキーポイントに！

今回のレースでキーポイントとなるのは、やはり作戦面。ツインリンクもてぎでは、過去にも1ピット対2ピットの戦いや、1ピット対ノーピットといったドラマが演じられてきた。今回のレース距離は250kmで、タイヤ交換の義務付けはなし。しかし、もてぎはフォーミュラ・ニッポンが開催されるサーキットの中では、比較的ピットロードでのロスタイムが少ない。それだけに、天候やグリッドポジションなどによって、戦略は分かれると見られる。

とは言うものの、ほとんどのチームも「無給油はムリなのではないか」とのこと。昨年からエンジン排気量が3.4リッターになったこと、またマシンの重量が重くなっているにも関わらず、ラップタイムが上がっていることなどから、燃費は相対的に悪くなっている。そのため、雨になったとしても無給油で250kmを走り切るのは難しいということだ。その場合注目されるのは、スタート時にどれだけの燃料を搭載するのか。軽めでスタートしてラップタイムを上げ、



その分ピット作業を長くするのか。あるいは重めの燃料でスタートして、ピットで相手を突き放すのか。もちろん、予報通りにウェットコンディションとなれば、その雨量によっても作戦は変わってくる。そのあたりがキーポイントとなりそうだ。



Pole Position: J.P. ・デ・オリベイラ
Mobil1 TEAM IMPUL / #19

明日のレースには自信を持って臨める

もてぎは前方からスタートすることが重要だと分かっているの、いい気分だよ。明日の天気はまだ分からないけど、雨ならさらに前にいる方がいい。予選では、Q1、Q2は次のセッションに残ることを心がけながらクルマのバランスをチェックしていた。そして、最後のセッションでそれまでよりも少しプッシュしたんだ。ポールポジションを獲得のは、もちろんいつもいいものだ。今年は新しいチームと仕事を進めているわけだけど、開幕戦でもいい成績を残すことができ、安定して上位で戦うことができるんじゃないかという手応え

を感じている。今回は加藤(祐二)エンジニアが現場に来れなかったから、一番前に並べたことは特別な。朝のフリー走行が終わった後、彼とは電話で話していくつかのを確認したけど、彼はデータを持っているわけじゃないし、僕のクルマの状況を分析するのは難しいよね。だから話をしたただけなんだけど、そこから岡田(淳)エンジニアとちょっとだけクルマを触って、すべてが上手く行ったと思う。明日のレースには自信を持って臨める。天気がどうだろうと、いいレースができると思っているよ。



2nd: A. ロッテラー
PETRONAS TEAM TOM'S / #36

明日はJPをオーバーテイクしたい(笑)

予選はいつも僕らにとって若干の弱点となっている部分だから、タイム的には僅差だったけど今日2番手で終えられたのは良かったよ。明日はいいスタートを切って、友人のJPをオーバーテイクしたいと思っているよ(笑)。何年もここで走っているし、チームのことはよく分かっている。エンジニアとも多くのことを話さなくてもお互いのことを分かり合えるから、仕事も素早く進む。そんな中で、何かを学んだとすれば、常にプッシュすること、自分らしく自分にできる限りのことをすることっていいことかな。



3rd : 小暮 卓史
NAKAJIMA RACING / #32

厳しい予選を予想していたけど、やっぱり悔しい

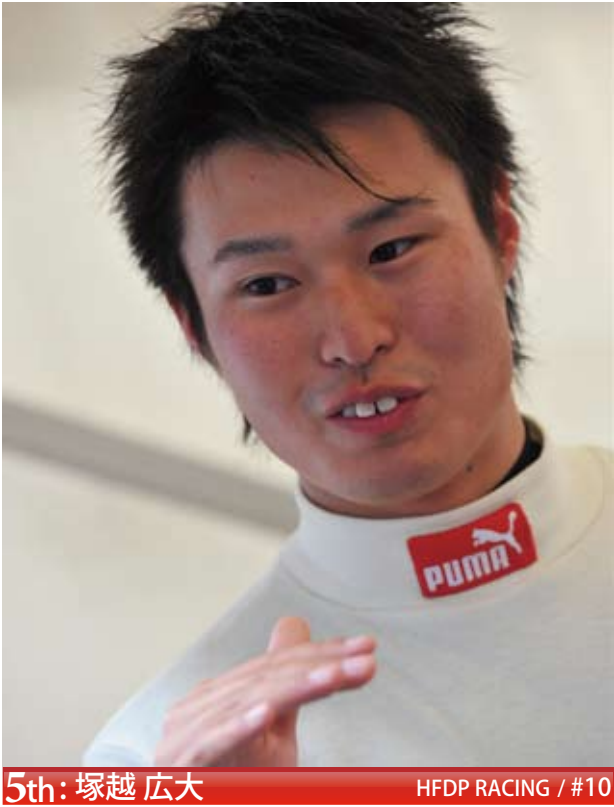
鈴鹿でもそうでしたが、すごくタイムが接近してきて、去年の優位性は全くないという感じがですね。セットアップを色々といじって行く中で、Q2はちょっと外してしまったので、最後は元に戻って行きました。アタックは悪くないにも関わらず、なかなかトップを取れなかったのも、もっと前進しなくちゃいけないと思いました。



4th: L.デュバル
DOCOMO TEAM DANDELION RACING / #1

明日は楽しいレースになると思うよ

今日の朝から、クルマはいい状態。鈴鹿でクラッシュした影響であいにく周回を重ねたユースドタイヤしか持っていなかったけど、それでも充分OKな仕上がりだった。明日はみんなが雨になると言うけど、ここでの雨は経験しているから問題ない。とにかく上位の力がすごく接近しているから、楽しいレースになると思うよ。



5th: 塚越 広大
HFDP RACING / #10

僅差がもてぎでは重要

朝から周回を重ねる毎にセッティングが進み、Q2ではすごく良くなりました。Q3は走り方をうまくまとめることが出来なかった結果。そのあたりが、まだまだ甘いところですね。タイム差は確かに僅差ですが、その僅差がもてぎでは重要。もっと詰められるようにならなければ、と思います。決勝で今の順位より前でゴール出来るよう頑張ります。

Round 2 MOTEGI TOPIC



14人中、実に4人が地元出身のドライバー 大応援団の熱い声援に見事に応えるのは誰？

今年、フォーミュラ・ニッポンに参戦しているドライバー14人のうち、実は4人が地元ドライバー。現在、ランキングトップに付けている小暮卓史は、少年時代から群馬で育ち、今は栃木で一人暮らしをしている。また、大嶋和也も群馬出身。父と叔父が全日本ラリーに出場していたことから、幼い頃にカートを体験し、そこからレーシングドライバーへの道を歩み始めた。そして、ツインリンクもて

ぎのある栃木県出身なのが、塚越広大とルーキーの山本尚貴。この2人に関しては、今回のレースでも、地元の大応援団がスタンドに集結することになっている。特に、予選日から熱い声援を受けていたのは、山本。母校・作新学院の後輩たちが、予選中は校旗を振って先輩にエールを送っていた。また、塚越には今日、心強い応援団が駆けつける予定。JBLプロバスケットボールチーム・リンク栃

木ブレックスの大宮宏正選手と片岡大晴選手が、塚越のピットを訪問するというのだ。ちなみに、リンク栃木ブレックスは、09-10年シーズンの全日本チャンピオンチーム。中でも、大宮選手は茂木町出身ということで、ツインリンクもてぎの応援団長も務めている。こうした様々な人の支えで、地元出身ドライバーたちはどんな走りを見せるのか。火花散る戦いに期待してもらいたい。